取扱説明書

BLOVAC®

空気式バキュームクリーナー

ブローバッククリーナー

本書はブローバッククリーナーを安全に正しくご使用いただくための説明書です。ご使用の前に必ず最後までお読み下さい。また必要なときにいつでも利用出来るように大切に保管して下さい。

株式会社ブローバック

はじめに

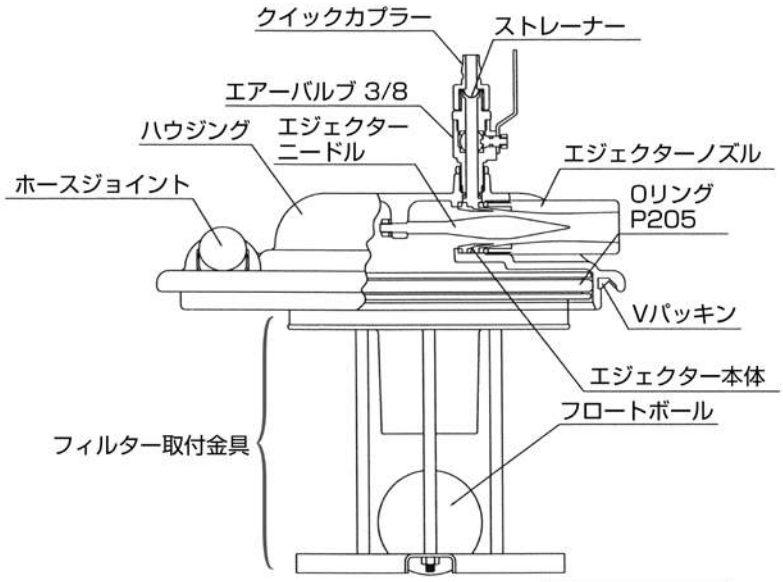
ブローバッククリーナーは、圧縮空気を利用した産業用バキュームクリーナーです。
取扱いが容易で、コンパクト・ローコスト・ノーメンテナンスといった特長を持っています。
ご使用の前には、必ず本書をお読みいただき、正しくご使用下さい。

製品構成

モデル	タイプ	吸込ホース（塩ビ）	吸込ノズル（アルミ）	型式	型式（OS※付き）	型式（FS※付き）
標準モデル	標準タイプ	φ 25 × 2m	φ 25 × 30cm	V300	V300-OS	V300-F
		φ 32 × 2m	φ 32 × 30cm	V500	V500-OS	V500-F
	大容量タイプ	φ 38 × 2m	φ 38 × 30cm	V530W	V530W-OS	V530W-F
		φ 50 × 2.5m	φ 50 × 50cm	V550W	V550W-OS	V550W-F
	高真空タイプ	φ 25 × 2m	φ 25 × 30cm	V300H	V300H-OS	—
		φ 32 × 2m	φ 32 × 30cm	V500H	V500H-OS	—
サイレントモデル（サイレンサー付き）	標準タイプ	φ 25 × 2m	φ 25 × 30cm	VS300	VS300-OS	VS300-F
		φ 32 × 2m	φ 32 × 30cm	VS500	VS500-OS	VS500-F
	大容量タイプ	φ 38 × 2m	φ 38 × 30cm	VS530W	VS530W-OS	VS530W-F
		φ 50 × 2.5m	φ 50 × 50cm	VS550W	VS550W-OS	VS550W-F
	高真空タイプ	φ 25 × 2m	φ 25 × 30cm	VS300H	VS300H-OS	—
		φ 32 × 2m	φ 32 × 30cm	VS500H	VS500H-OS	—

※ OS：オイルストッパー　＜液体の吸引時に容器が満杯になると、フロートボールが作動して吸引を止めます＞
※ FS：フィルターセット　＜粉体の吸引時に、空気と一緒に排出されるのを防ぎます＞

各部の名称



※フィルター取付金具＋フロートボール＝オイルストッパー

ご使用の前に

容器について

ペール缶（JIS 規格　鋼製の 20ℓ）は、縁に傷や凸凹のない肉厚のものをご使用下さい。
お手持ちでない場合は、弊社へご用命下さい。（**Model：20P**）
他に以下のものをご用意しております。
◎ 19ℓステンレス缶（**Model：S19L**）
◎ 19ℓステンレス専用缶（**Model：HV19L**）
◎ 30ℓステンレス専用缶（**Model：HV30L**）
◎ 50ℓ専用ドラム缶（**Model：50LD**）
また、JIS 規格の鋼製オープンドラム缶（200ℓ）でご使用される場合は、専用天板（**Model：DTB200C**）をお買い求め下さい。

コンプレッサーについて

コンプレッサーは、標準モデル・サイレントモデルとも、V300 型、V300H 型は 3 馬力以上、V500 型、V500H 型は 5 馬力以上、V530W 型、V550W 型は 10 馬力以上のものをご使用下さい。

供給空気圧について

使用空気圧は、5 ～ 6kg/cm^2 が適当です。
圧力が高いと真空度が上がり、容器が凹む、または潰れるおそれがあります。また、低いと吸引力の低下の原因ともなります。他機との併用、配管エアーの利用における圧力低下には、十分ご注意願います。

エアーホースについて

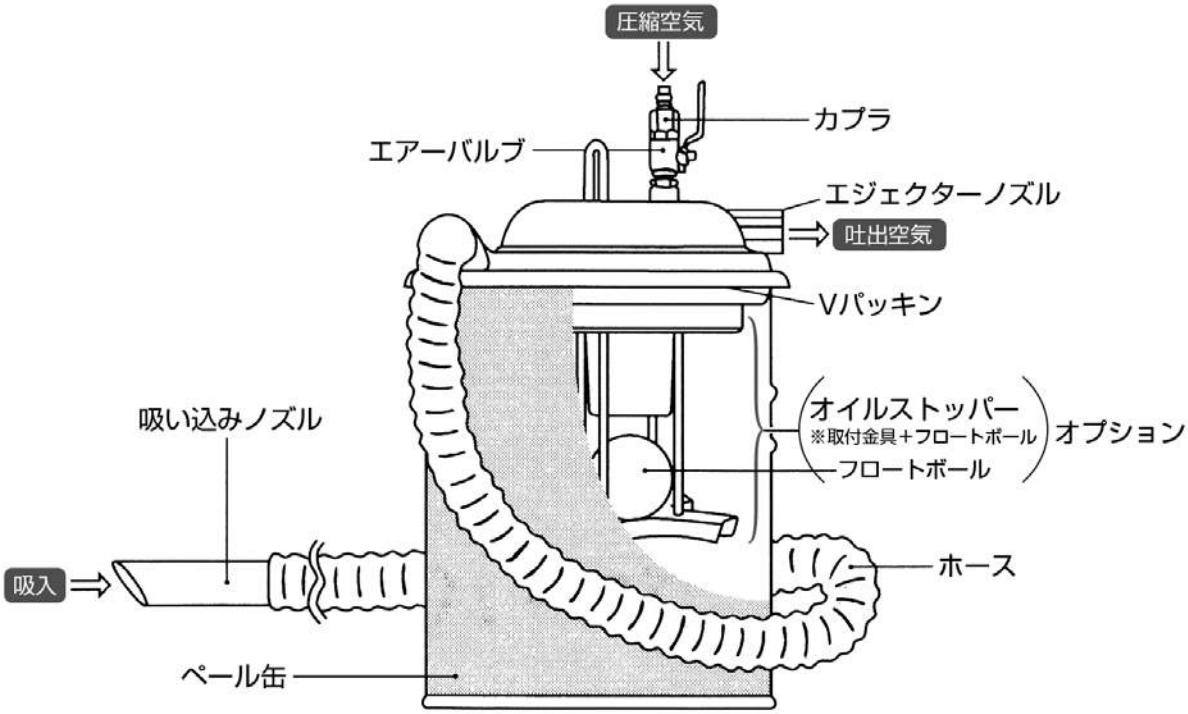
供給エアーホースの内径は、3/8"（エアーバルブが 1/2" の場合は 1/2"）以上のものをご使用下さい。
ホースが細いと、性能低下の原因になります。

＜接続について＞
本機には日東工器製ハイカプラ（オス）#30PFF が付いていますので、エアーホース側はハイカプラ（メス）#30SH をご用意下さい。

エアーバルブ 1/2" の取付けについて

クリーナーの大容量タイプ（V530W・VS530W・V550W・VS550W）には、エアーバルブ 1/2" の取付けが可能です。
1/2" のエアーバルブに交換することにより、真空度、空気消費量が約 30%、空気吸込量が約 15%アップいたします。この場合、本体に追加工が必要となります。ご相談下さい。

ご使用方法



1	ペール缶に本機を乗せ、本機のゴムパッキンの溝にペール缶の縁がピッタリ入るようにセットして下さい。 ピッタリ入らない場合は、缶を交換して下さい。缶の縁に凹凸や変形があると、密閉しないので、能力が低下します。

▼

2	本機のエアーバルブを閉じて、エアーホースを接続して下さい。

▼

3	エアーバルブを開いて下さい。 エジェクターより空気が排出され、吸込ノズルより対象物を吸い込みます。

吸込ノズルは、丸と角の２種類を標準付属品として付いています。また、φ 15 の小径ノズルを特別付属品としてご用意しています。吸い込む物や場所により、使い分けて下さい。

＜ノズルの取り替え要領＞

ホースを左手に、ノズルを右手に持ち、ホースに向かって時計回りにノズルを回しながら引き抜いて下さい。

⁘ 取り扱い上の注意

シンボルマーク、シグナルワードとその意味

この表示の項では製品について誤つた取り扱いをすると、人命への危害や財産への損害を負うおそれのある大事な注意が記載されています。その表示と意味を良くご理解のうえ本文をお読み下さい。

⚠ **警告**	必ず実行して頂く**「強制警告」**です。	⚠ **注意**	気を付けて頂きたい**「注意喚起」**です。

⚠ 警告

① **酸、アルカリ、アスベスト等人体に悪影響のある物質の吸引はやめて下さい。**

② 静電気等により、発火の恐れがある物質を吸引される場合は、**必ずアースをとって下さい。**

③ 溶剤や薬品の吸引には適しませんが、万一シンナー等の一般溶剤を吸引される場合は、**室内の換気や使い方に十分ご注意下さい。**
尚この場合は、ホース等を適応品と交換する必要があります。予めご相談下さい。

⚠ 注意

① 吸い込み対象物の温度は、**60℃以下でご使用下さい。**
60℃以上でのご使用を希望される場合は、予めご相談下さい。

② エジェクターノズルからの空気の吹き出しは強力です。**吹き出し方向にご注意下さい。**

③ 容器が満杯になったり、吸引を途中で止めた時などは、**本機のエアーバルブを速やかに閉じて下さい。**
エジェクターノズルから、吸引物が吹き出す原因となります。

④ **高真空モデルのクリーナーをご使用される場合は、**ペール缶ではすぐに変形してしまいますので、**専用缶（Model：HV19L ／ Model：HV30L）をご使用下さい。**

⑤ **本機のニードルをニードル S に交換される場合は、**真空度が約 50%上がりますので、ペール缶が変形する恐れがあります。**別売のペール缶補強枠（Model：P20）をご使用下さい。**

⑥ **液体を吸引される場合は、オイルストッパーをご使用下さい。**
オイルストッパーは、容器が満杯になるとフロートボールの働きにより、自動的に吸い込みを止め、エジェクターノズルから、液体が空気と一緒に吐出されるのを防ぎます。

⑦ **粉体を吸引される場合は、フィルターセットをご使用下さい。**
エジェクターノズルから、粉体が空気と一緒に吐出されるのを防ぎます。

⑧ 空気と一緒に液体を吸引すると、エジェクターノズルから液体が吐出空気に混じって出てきてしまいます。**液体を吸引する時は、液体の中にきちっとノズルを入れて下さい。**

⁘ 困った時のチェックポイント

ご使用中異常が生じた時は、直ちにご使用を中止して下さい。なお、このような時には以下を参照して、症状に応じた点検を実施して下さい。

吸入が極端に弱い、あるいは全く吸わない場合

チェックポイント	点検と処置
エジェクターノズルから勢い良く空気が排出されていますか？	**＜排出されていない場合＞** エアーホースの接続及びバルブが開かれているか、ご確認下さい。
本機の把手（にぎり）をもって持ち上げて、ペール缶も一緒に持ち上がりますか？	**＜持ち上がらない場合＞** ペール缶上部の凹みやＶパッキンの傷等により、十分に真空度が上がっていないことが原因です。 ペール缶、Ｖパッキンを交換して下さい。
吸込ノズルに手のひらを当てたとき、強く吸われますか？	**＜吸われない場合＞** 吸込ホースやノズルが詰まっているか、またはホースに傷や穴があいていることが考えられます。 詰まっている場合は、詰まりを取り除いて下さい。 また、ホースに傷や穴があれば、交換して下さい。

吸入が弱い場合

チェックポイント	点検と処置
接続しているエアーホースの口径が細くありませんか？	エアーホースの口径は、φ 9.5mm（3/8）以上で接続して下さい。
ホースやノズル、本体に詰まりはありませんか？	詰まりがあれば、取り除いて下さい。
ご使用の吸込ホースや容器に破損箇所がありませんか？	破損箇所があれば、新しいものに交換して下さい。
吸い込む距離が長かったり、吸い上げる高さが高くありませんか？	作業内容を変えてみて下さい。
吸い込むものの比重や粘度が高くありませんか？	比重や粘度が高くなると、比例して吸引時間も長くなります。
供給圧力が低くありませんか？	供給空気圧は、5 ～ 6kg/cm^2 が適当です。
コンプレッサーの能力が小さくありませんか？	コンプレッサーの能力は、5 馬力以上が適当です。 W タイプは、10 馬力以上が適当です。

付属品

オイルストッパー
液体の吸引時に、容器が満杯になるとフロートボールにより吸引を止めます。容器の容量以上（ペール缶の場合は 20ℓ）の液体を吸引される場合にご使用下さい。エジェクターノズル部よりの吹き出しを防ぎます。
フィルターセット
吸引された粉体や塵、埃がエジェクターノズルより吐出されるのを防ぎます。
エジェクターニードル S
真空度を 40%～ 50%上げます。液体を吸引するのには効果がありますが、逆に空気の吸い込み量が落ちますので、切り粉や樹脂ペレット等の吸引には不向きです。
補強枠（P 枠）
ニードル S 等で真空度を上げた場合に、ペール缶の補強用として使用します。また底部はパンチングメタルを使用し、穴が開いていますので、吸引した切り粉と油等の分離用としても使用できます。
ステンレス専用缶（HV19L）・ステンレス専用缶（HV30L）
高真空モデル（H 型）を使用される場合は、上記専用缶（HV19L）または専用缶（HV30L）の使用をお勧めいたします。
サイレンサー（S50）
エジェクターノズル部の空気吐出音を下げたい時に使用します。供給空気圧が 6kg/cm^2 の時に、騒音値は約 15%低下しますが、真空度：約 5%、空気吸込量：約 3%ともに低下します。
T 型ノズルセット
床等に散らばった切り粉、粉塵、液体を効率よく回収いたします。対象モデルは V500 型です。他のモデルでは使用できません。
ペール缶キャスター（PK20S ／ PK20R）＆ホルダー（PH20）
＜ペール缶キャスター＞　ペール缶の移動が簡単に行えます。鉄製と樹脂製があります。 ＜ペール缶ホルダー＞　ペール缶とクリーナー本体を固定いたします。

お手入れ

カプラの中にストレーナー（こし網）が入っています。

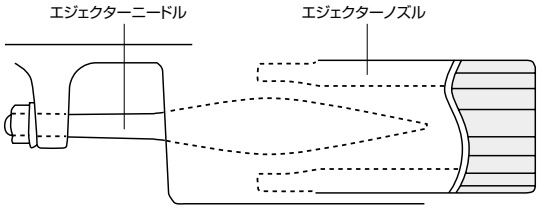
ストレーナーにゴミなどが詰まると、性能が低下致しますので、時々、石鹸水で洗って下さい。

洗う時にストレーナーは外さず、そのまま洗浄して下さい。

⁘ 参考

ニードルの交換要領

クリーナーの内側に、下図の様にエジェクター部があります。



◎ V300 の場合

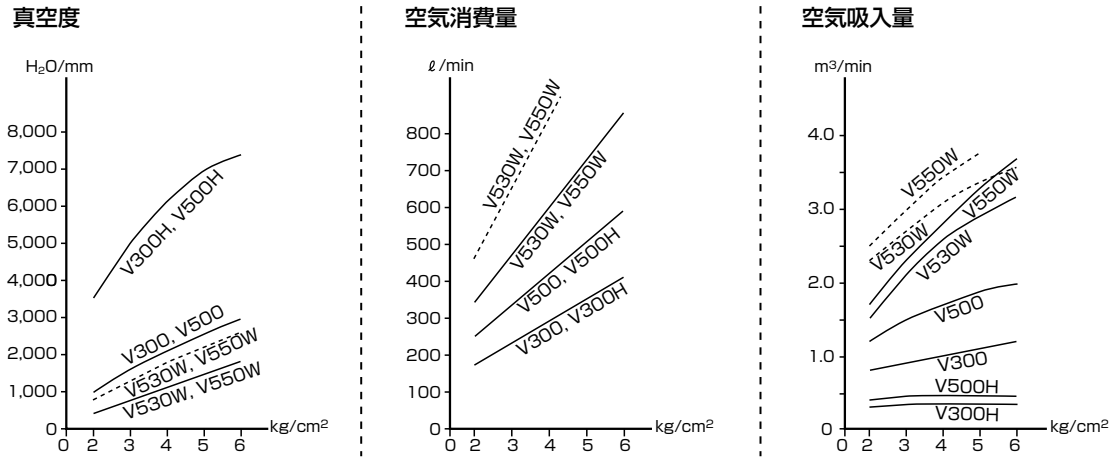
エジェクターノズル（吹き出し口）をスパナ等で取り外して下さい。
矢印のニードルを固定しているネジを外して、V300 用ニードル S と交換し、仮締めしておきます。
エジェクターノズルを元のようにしっかり固定した後、吹き出し口から見てニードル S が穴の中心に来るようにしっかり固定します。

◎ V500 の場合

矢印のニードルを固定しているネジを外すと、ニードルが抜けます。V500 用ニードル S と交換します。
V300 同様、ニードル S が穴の中心に来るように、しっかりと固定します。

※ご注意：V300 には V300 用、V500 には V500 用と、それぞれ専用ニードル S をご使用下さい。

性能



※図中の点線 V530W ／ V550W は、エアーバルブ 1/2" を使用した時。

BLOVAC® 株式会社ブローバック http://www.blovac.com

本社／〒 106-0041 東京都港区麻布台 3-4-4-201号 TEL.（03）3586-6341 FAX.（03）3582-4463
工場／〒 386-0402 長 野 県 上 田 市 藤 原 田 1053 TEL.（0268）67-2523 FAX.（0268）67-2284

032723 N 3,000